



たかはるちょう

第38号

平成23年11月臨時会（第7回）
平成23年12月定例会（第8回）

議会だより



おねっ子たち

一年の無病息災を祈願して・・・

- 新年のごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- 一般質問・質疑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3～P 5
- 定例会・臨時会の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6～P 7
- 行政調査報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8～P 11
- 川井田医院紹介、議会改革検討特別委員会設置について、編集後記・・・ P 12

■発行／高原町議会

■編集／議会だより編集委員会

☎889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地 ☎(0984)42-2111

■発行日 平成24年2月15日



the most beautiful
villages
in japan



謹んで新年の お慶びを申し上げます



議長あいさつ

新年、あけましておめでとうございます。
皆様には、ご家族お揃いで、初春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

本町は、一昨年は口蹄疫・鳥インフルエンザ、昨年は新燃岳の爆発的大噴火と2年間にわたって、被害を受けました。

新燃岳大噴火からの復旧・復興はもちろんのことですが、深刻化する少子高齢化による人口減少は、本町として、真剣に考えなければならない身近な課題であります。

本町の高齢化率は、平成23年4月現在、32・9%となり本町の人口の3人に1人が65歳以上の高齢者ということとなり、そのうち75歳以上の高齢者は20・1%と本町の人口の約5人に1人が75歳以上の高齢者ということで、ますますもって福祉の充実が求められるところであります。

このように少子高齢化の進展にともなう人口の減少は、労働人口の減少も意味しており、人手不足となり、高齢者等の介護・介助の手も不足するということとなります。

わが国の人口減少、少子超高齢化社会における町のあり様を考える時、地域におけるコミュニティ（地域社会・共同体）の再生こそが最重要課題であります。つまり、昔あったご近所同士の助け合い、相互扶助・相互協力がますますもって重要と受け止めているところです。

町議会としても、このような身近な最重要課題である本町の福祉の充実に、議員一丸となつて課題解決に挑み、さらなる高原町の発展のために、邁進致す所存ですので、これまで以上の、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

町民皆様のさらなるご多幸とご健勝をお祈りし、念頭の挨拶とさせていただきます。

一般質問

○高岡町老人福祉館高千穂
荘及び高齢者工芸センタ
ーの活用について

前原 淳一議員

(問) 老人福祉館は整理して手を加えれば立派に活用が出来る。小中学生に宿泊体験や陶器による記念品づくりや湯飲み等を高齢者に配るなどすればふれあいの場が生まれると思うが。

(答) 老人福祉館の代替施設としてほほえみ館が出来た。また、町内にも温泉施設等も増えた。廃館を視野に入れ検討する。

高齢者工芸センターは高齢者工芸グループ、生涯学習講座等で利用されている。木工施設はニーズを勘案し検討する。



▲高齢者工芸センター

(問) 郷土資料館の展示品は皇子原公園に移したかどうか。

(答) 関係者との協議が必要だから今は郷土資料館を整理しながら展示できるようにしていく。

○新燃岳噴火災害について

(問) 防災対策は万全か。

(答) 避難計画を作成し備えている。又南北狭野地区の自主防災組織へ防災用品の整備を行う。

(問) 大規模噴火の時の避難方法は。

(答) 避難方法やルート、場所等について講習会やチラシ配布など周知徹底を図る。避難訓練は引き続き実施していく。

(問) 火災発生時の対応は。

(答) 警戒態勢を敷き即座に対応できる状態を取り、住宅に及ぶ火災には、小林の広域消防の応援態勢も計画されている。

(問) 警戒レベル3でも勧告を出すのか。

(答) 県・気象台・国土交通省等と協議をしながら対応する。

(問) 危険区域に整備される拡声器はどの程度で設置場所は何処になるのか。

(答) 拡声器は4方向ラッパ式でハザードマップ既定地区を中心に4機で、設置場所は消

防団、地元区長と協議の上検討する。

写真はイメージです。



▲4方向ラッパ式拡声器

(問) 牛の避難はストレスと見られる障害が多い。しっかりとした基準が必要では。

(答) 今後ハザードマップに沿って体制の整った畜舎と、環霧島、また災害応援協定等で隣接する市町にお願いをしていかなければならないと考える。

○介護保険法改正について

中村 昇議員

(問) 今回の改正により、市町村は介護予防・日常生活支援総合事業を創設できる。総合事業は要支援と介護保険非該当の高齢者を対象とした事業。デイサービスの代わりに公民館での不定期の通所サービスまた、訪問ヘルプサービスが無資格者の有償ボランティアの家事サービスへと変わることも起こりかねない。町では実施されるのか。

(答) 年度末に国から示される「手引書」をもとに事業に取り組んでいく。

(問) 「定期巡回・随時対応型訪問看護介護」という新サービスが導入される。しかし、深刻な人材不足の中、重度の高齢者の在宅生活を保障する十分な職員体制が確保できるかも不明。このサービスをどう考えるか。

(答) 検討すべき課題が多々ある。

○第5期介護保険事業計画について

(問) 「介護保険事業計画」策定に際しては「日常生活圏域」における「ニーズ調査」を実施することになっており、高齢者の生活実態や介護ニーズをつかみ直すことが重要だが取り組みは。

(答) 町内の65歳以上の一般高齢者及び要介護認定者、500人を対象にニーズ調査を実施。結果を基に計画策定中である。

(問) 第5期の介護保険料設定にあたり、負担軽減をはかるために介護給付費準備基金等を活用すべきでは。

(答) 第5期の介護保険料は増額せざるをえない状況にある。今後、介護保険給付費準備基金の活用を念頭に町の実情にあった介護保険料を決定する。

○保健事業について

(問) 研修先の内灘町では、町独自で5歳児健診を行い、発達障害の早期発見、早期療育を行っていた。本町でも取り組みを。

(答) 5歳児健診については、3歳児健診で対応できている。

11月臨時会 質疑

○承認第13号、専決処分、平成23年度高岡町一般会計補正予算(第6号)

前原 淳一議員

(問) 農業用施設及び公共土木施設の内容は。

(答) 道路の土砂の排除、水路の土砂の排除、農道の泥の排除、又は、立木等の倒木の排除や水路の機能を回復する工事である。

○議案第52号一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例

中村 昇議員

(問) 今回の改定は、総額で幾らになるか、又、組合等の交渉はどうなのか。

(答) 78名の職員が対象で、影響額は116万6千円です。10月24日、11月16日、11月18日に組合交渉を行った。

○議案第53号物品購入契約について

(問) 指名競争入札の内容と契約金額は。
清水 公雄議員

(答) いすゞ自動車、日野自動車の2社による競争入札です。契約金額は、1,522万9千円である。

○議案第54号平成23年度高原町一般会計補正予算(第7号)

(問) 公共土木施設災害復旧費の公有財産購入費30万円の内訳は。
温谷 文雄議員

(答) 奥・赤木八重線の工事でジオテキスタイル工法をとる為に買収をする。

(問) 四位農園の進入路の形は。
前原 淳一議員

(答) 大型車両の進入に耐えられるよう、表層のアスファルトの厚み、路盤工の碎石の厚みの打ちかえを行う。

(問) フリーウェイ工業団地の排水の整備は。
宮司 勲議員

(答) 工場用の排水が調整池に入らないように新しい水路を設ける。

(問) 観光費30万円の内容は。
清水 公雄議員

(答) 平成23年12月3日・4日で東京都内において開催される全国町村会主催の物産展に参加する。

12月定例会 質疑

○議案第55号西諸広域行政事務組合規約の変更について

(問) 市町村圏基金の配分についてどのような協議がされたのか。
清水 公雄議員

(答) 基金の配分等については、構成市町の幹事会、合同会議等で検討を重ねておりますが、具体的なことは、決まっております。今後、事務方レベルで協議を重ねていきたいと考えております。

○議案第57号高原町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

温谷 文雄議員

(問) 一般廃棄物処理施設とは、どこなのか。また、技術管理者の仕事、その事務内容は。
宮司 勲議員

(答) 霧島美化センターです。仕事の内容は、現在の仕事内容と同じです。

○議案第58号高原町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

(問) 一人での入居は何戸なのか。
宮司 勲議員

(答) 現在50戸です。
(問) 今後、公営住宅の設置について、いろんな角度から検討し、子育て世代の方々の入居が公営住宅に関係なくできるような施策を打ち出してもいいと思うのだが。

(答) 公営住宅の在り方、住宅等の整備、さらに公共及び民間活力を利用し取り組んでまいります。

○議案第60号高原町水道事業布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例

(問) 工事監督者並びに技術管理者に関する条例についてですが、免許を持っている人を職員の中から採用するのか、また、今まで管理者がどうい

う管理をされていたのか。
(答) 現在、職員の中では、技術管理者の有資格者が2名おりますが、上下水道課にはいないため、資格取得講習会に参加している。
また、布設工事監督者の有資格者は職員の中にはおりません。現在、コンサルタントに管理委託をお願いしております。

○議案第61号財産の取得について

(問) 高原町総合運動公園事業用地取得に係る1㎡単価は。
清水 公雄議員

(答) 前年度と同等の価格で8,014円で購入しております。

○議案第62号平成23年度高原町一般会計補正予算(第8号)

北迫 泉議員

(問) 企画費の中の地域交通機関運行維持対策事業の迂回ルート距離数は。また、迂回ルートの運行は、何日間だったのか。
(答) 小林・祓川線は通常、運行距離は、18・4キロメートルですが、今回の迂回ルートに伴う距離数は、5キロメートル増で21日間です。

(問) 住宅管理費の修繕料は入

居者の退去後の修繕か、違えばどういった修繕なのか。

(答) 入居者の退去後の修繕です。一部の町営住宅では、老朽化が進んでいる為、補強、修繕が必要となります。また、入居者が退去時に折半で修繕を行う部分もありますが、退去者の放棄が多くなり、修繕料が高くなっております。

(問) 災害対策費の自主災害組織育成助成事業は。

(答) 南狭野、北狭野地区に自主防災組織の資機材として、備蓄槽、ヘルメット、発電機、救助工具セット、投光器などを購入いたします。ほぼ100%の補助で事業を行います。

入佐 廣登議員

(問) 口蹄疫に対しての購買者対策として、対象頭数は、何頭ぐらいを考えているのか。

(答) 対象頭数は、2月期、3月期を合わせて、1,017頭を予定しています。

(問) 台風15号による災害箇所と地区名は。

(答) 農地が10箇所、広原が4箇所、西麓が2箇所、後川内が4箇所です。また、農業用施設は、13箇所、広原が4箇所、蒲牟田が1箇所、後川内が8箇所です。

(問) 口蹄疫対策の今後の取り組みは。
(答) 現在行っている事業等を

取り入れながら、口蹄疫対策等に積極的に行ってまいります。

宮司 勸議員

(問) 新燃岳噴火災害復旧基金事業の補正予算137万8千円の根拠は。

(答) 新燃岳噴火災害復旧基金事業の商品券配布事業で当初1万人分2千万円を計上していましたが、噴火日以降出生者や死亡者、転入者含め689名分、1人2千円の137万8千円が不足したため。

(問) 新燃岳噴火関連の防災事業の拡声器、受令機等4機、4ヶ所の場所と今後とも計画的に設置されるのか。

(答) 防災事業について今回は、ハザードマップによる危険区域の4ヶ所に設置し、その箇所については地形の問題もあり専門業者や地元区長の意見も聞き設置する。また今後については検討する。

(問) 成人式の報償費52万5千円のイベント経費については。

(答) 永井龍雲さんが作詞・作曲した「高原ロマン」を高原町に寄贈され高原町はCDを作った。成人式で本人の演奏と新成人者にCDを寄贈する経費である。

(問) 消防施設費の屋外拡声器

中村 昇議員

の供用開始はいつ頃になるのか。また、防災訓練は、自主防災組織で計画書を作成し、行うのが当然だろうが、行政のほうで、主導的に行うようにするほうが、やりやすくなるのでは。

(答) 供用開始については、可決後、3月中旬頃までには設置する予定ですが、なるべく早く工事を済ませ、供用開始をしたい。防災訓練については、公的な機関を加えた訓練が望ましい。

(問) 拡声器の供用開始後は、消防信号か、防災信号になるのか。また、防災訓練は、役場のほうで指導してやっていくということなのか。

(答) 拡声器と受信設備制御装置を連動できるのか、業者と協議を重ね、詰めていきたい。防災訓練については、行政と地元と一体になった共同訓練が望ましいと考えている。

前原 淳一議員

(問) 4機設置予定の拡声器について、町民から、防災だけでなく、一般的な事務的なことも流してほしいという意見と、将来的には、町内全域拡声器を広げていく考えはないのか。

(答) 今回、整備するのは、移動型の無線機のため、防災以外の利用は厳しい。また、将

来的な防災無線の整備となると莫大な費用が必要となってくる。

(問) 何年か掛けて、計画的に進めてほしいと思うが、どうか。

(答) 防災体制、防災情報の体制のあり方は、町全体的に考えていく必要がある。

温谷 文雄議員

(問) 障害自立支援医療費、障害者介護給付訓練等給付費の対象者がそれぞれ何名いるのか。また、障害者が何名増えたのか。その増えた原因に社会的背景があるのか、自立支援の中身は。

(答) 障害者自立支援更正医療の対象者は、11月1日現在、55名です。昨年度と比べて5名増えている。医療費の高い高齢者が増えている社会的な背景によると考えられる。内容については、一般医療を終え、既に治癒した身体障害者、身体障害者手帳の交付を受けている18歳以上の方に対して、日常生活能力などの障害を軽減回復させるリハビリテーション医療です。介護給付、訓練等給付費の対象者は、12月1日現在で86名、12月以降、6名増えるの見込まれる。内容については、障害者の居宅介護と、障害者支援施設等における通所者の入浴・排泄・

食事の介護、生産活動機会の提供等のサービス、短期入所サービスがあります。また、施設入所者に対する施設入所支援、就労移行支援、非雇用型の就労継続支援、グループホーム支援などがあります。

清水 公雄議員

(問) 復興たかはる「おいしい農産物」山盛り事業補助は、どこに補助され、一回限りなのか。

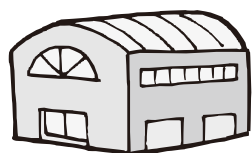
(答) 町内の保育園、幼稚園、小中学校の給食に地場産物を活用促進するということで、補助金は、高原町農畜産物等復興対策協議会へ支出の予定で、一回限りです。

(問) 消防服の更新のための予算の内容は。

(答) 消防団員の活動服の購入費用です。

(問) 町民体育館修繕のための予算の内容は。

(答) 町民体育館の天井の内側に剥落した天井板が落下してこないように、応急的にビニールネットを全面的に布設する工事です。



○議案第63号平成23年度高原町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

中村 昇議員

(問) 特定検診の未受診者アンケートの対象者は。また、アンケート実施後の対応は。

(答) 対象者は、700名程度です。アンケートの分析については、町のホームページ等で公開します。

宮司 勸議員

(問) 保険給付費の減額補正についての要因は。

(答) 前期高齢者交付金は、前期高齢者給付費額、国保加入者数、前期高齢者数などの多くの要因から、厚生労働省の定めた定率で計算されており、実際、医療費が少なかったということです。

○議案第65号平成23年度高原町水道事業会計補正予算(第2号)

宮司 勸議員

(問) 西諸地区農業水利総合開発事業に伴う送・配水管移設に係る39万円の補償費と負担割合は。

(答) 減価償却費を差し引いた額が、補償金として計上してあります。

平成23年 第7回臨時会議議決内容

議案番号	件名	議決結果	①松元茂春	②鹿嶋重明	③温谷文雄	④前原淳一	⑤宮司 勲	⑥入佐廣登	⑦北迫 泉	⑧中村 昇	⑨清水公雄	⑩森山 勇
承認 第13号	専決処分について 平成23年度高原町一般会計補正予算（第6号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第52号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
議案 第53号	物品購入契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第54号	平成23年度高原町一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

平成23年 第8回定例会議議決内容

議案番号	件名	議決結果	①松元茂春	②鹿嶋重明	③温谷文雄	④前原淳一	⑤宮司 勲	⑥入佐廣登	⑦北迫 泉	⑧中村 昇	⑨清水公雄	⑩森山 勇
同意 第5号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第55号	西諸広域行政事務組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第56号	保育所の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例（撤回について）	撤回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第57号	高原町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第58号	高原町町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第59号	高原町水道事業における剰余金の処分に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第60号	高原町水道事業布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第61号	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

平成23年 第8回定例会議議決内容

議案番号	件名	議決結果	①松元茂春	②鹿嶋重明	③温谷文雄	④前原淳一	⑤宮司 勲	⑥入佐廣登	⑦北迫 泉	⑧中村 昇	⑨清水公雄	⑩森山 勇
議案第62号	平成23年度高原町一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第63号	平成23年度高原町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第64号	平成23年度高原町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第65号	平成23年度高原町水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	選挙管理委員及び補充員の選挙	当選	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

高原町議会改革検討 特別委員会を設置

高原町議会では、自らが高原町議会を改革し今の時代に即応した議会を目指すために、平成二十三年九月から「高原町議会改革検討特別委員会」を設置し委員長に宮司勲氏、副委員長に北迫泉氏、第一作業部会長に入佐廣登氏、第二作業部会長に中村昇氏を選出しました。既に検討委員会も両作業部会も会議を重ねています。

行政調査報告

総務経済常任委員会

1. 調査日 平成23年11月9日～10日

2. 研修地 神奈川県開成町及び真鶴町

3. 研修者 宮司 勲 入佐廣登、前原淳一、
温谷文雄、森山 勇
(事務局) 亀田光二、平川昌知



4. 目的 地方分権が加速する中で、本町議会においては、議会及び議員活動の活性化を目的に議会改革特別委員会が設置された。研修先は議会基本条例を制定し、活発な議会活動が行われている開成町と町独自のまちづくり条例を制定し、町の景観維持や美しいまちづくりに取り組んでいる真鶴町を調査した。

◎開成町 人口16,000人 議員定数12名

1. 議会基本条例制定までの経過について

議員定数の論議を契機に平成20年8月議会改革特別委員会を設置し、通年議会や議会報告会等を試行しながら議会基本条例制定に必要な事項について検討を行い平成22年3月に議会基本条例が制定された。

(1) 目的

議会活動の明確化と議員自身の資質の向上を図り、開かれた議会運営を基に町民と一体となったまちづくりを実現する。

(2) 主な事項

- ①町民自治会、各種団体との意見交換と議会報告の実施
- ②一般質問の事項に対し町長の答弁書を事前に提出してもらい、本会議において議論を深める。
- ③町長に反問権付与
- ④通年議会（一年を通して会期）の導入

2. 考察

地方分権や地域主権の流れが進む中で、これからはより一層行政、議会、町民が一体となったまちづくりが求められる。本町議会においても議会基本条例の制定を前提とした議会の諸改革を急ぐ必要がある。

◎真鶴町 人口8,400人 議員定数12名

1. まちづくり条例制定の背景

1980年～90年代のリゾートブームによって町の乱開発が進み、町の景観の破壊と合わせ水源の確保が困難となったのが契機となった。開発か保全かで町民の意見が二分した中で最終的に民意は環境の保全を選択し、平成5年まちづくり条例が制定される。

2. 主な条例の内容

- (1) 土地利用のルール化
景観地域の指定と土地利用規制規準の設定
- (2) 美しさを誘導するためのルール化
美の規準（イメージ）を地区ごとに遵守事項として設定
- (3) 話し合いのルール化と一定の手続き
一定規模以上の建物については届出を行い審議会、公聴会を経て議会の議決に委ねる

3. 考察

都市計画法の適用に町独自の規準事項を加え、建築物と自然景観が調和するよう地域住民の理解と協力の基にきめ細かなまちづくりが行われている。本町においても「日本で最も美しい村」連合に加盟している町として、有しているすばらしい自然環境の保護や創出、伝統行事等の保存、持続を目的としたまちづくり条例の制定が必要と思われる。

行政調査報告

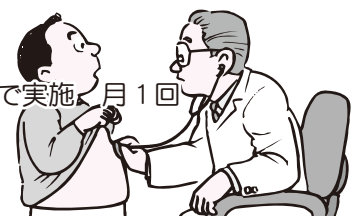
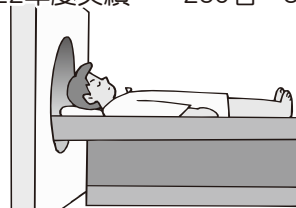
文教厚生常任委員会

1. 調査日 平成23年11月17日
2. 研修地 石川県鳳珠郡穴水町
3. 研修者 北迫 泉、中村 昇、清水公雄、鹿嶋重明、松元茂春
(事務局) 末永恵治、内村宗則
4. 目的 小・中学校再編並びに廃校舎の利活用に関する取組と現在の状況について調査を行いました。
5. 内容 平成19年度に2校の中学校を1校に、平成20年度に5校の小学校を2校に再編した。旧向洋中学校は学校法人日本航空学園へ、旧諸橋小学校は(株)JTPへ、旧鹿波小学校は(株)巨峰へ貸付されている。



1. 研修地 石川県河北郡内灘町
2. 目的 国民健康保険特別会計・健康づくり事業・広報普及啓発・人間ドック・その他について調査を行いました。
3. 内容 高原町と内灘町を比較しました。

内 灘 町	高 原 町
運営協議会開催状況…年4回 定例(決算・事業予定報告、予算編成・事業報告)うち、ヘルスアップ事業運営委員会2回 健康づくり事業 人間ドック助成 国保会計費用の70%助成 ※22年度実績 133件 4,222,640円 (1日・36件、1泊2日・67件、脳ドック・30件) 健康ウォーク事業補助金 金沢医科大学と提携し、ウォーキングを通じて健康保持と増進を図る。 ※開催日 5月22日 参加者400人(22年度 824人) ※内 容 ウォーキング 4キロ 8キロ 12キロ 健康ふれあいフェア 糖尿病予防を中心に健康測定・相談ブースや運動・栄養指導 特定健康診査(22年度) 対象者…4378人 受診者…1801人 (集団1158人・個別643人) 受診率41.1% (4/1現在) 法定報告…4001人 受診者…1747人 (集団6割・個別4割) 受診率43.7% 特定保健指導対象者…228人 (動機付支援170人・積極的支援58人) 参加者…73人(動機付支援62人・積極的支援11人) 実施率32.0% 広報啓発 22年度 シリーズ化して8回掲載 23年度 4月号 暫定保険税通知時 5月号 特定健診勧奨 10月号特定健診勧奨・保険証交付のお知らせ	運営協議会開催状況…年2回(税率算定時、予算編成時) 健康づくり事業 あんま・はり・きゅう施術料助成 1回900円(年間48回限度) ※22年度実績 1,875件 1,687,500円 人間ドック費用負担 国保会計 11,000円/人 ※22年度実績 285名 3,135,000円 特定健康診査 保健指導 ※22年度実績 集団健診343人、個別診断112人 特定保健指導者数67人 (動機付支援57人、積極的支援10人) 広報普及啓発…町広報誌で実施、月1回



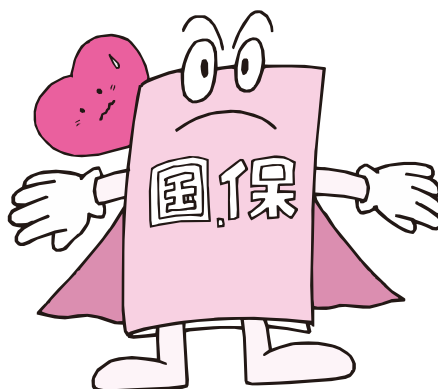
高原町の国民健康保険事業の状況

		22年度末現在			
			未就学児	前期高齢者	70歳以上一般 70歳以上現役 並み所得者
世帯数		2,080			
被保険者数	総数	3,629	127	1,115	603
	退職被保険者等	243	1		
	一般被保険者	3,386	126	1,115	603

		22年度平均			
			未就学児	前期高齢者	70歳以上一般 70歳以上現役 並み所得者
世帯数		2,100			
被保険者数	総数	3,687	117	1,161	627
	退職被保険者等	225	0		
	一般被保険者	3,462	117	1,161	627

保険税収納率(平成22年度)

		調定額	収納額	収納率
一般分	現年分	262,270,882	242,280,692	92.38
	滞納繰越分	90,624,055	14,198,842	15.67
退職者分	現年分	22,171,858	21,504,348	96.99
	滞納繰越分	2,363,217	419,079	17.73
合計	現年分	284,442,740	263,785,040	92.74
	滞納繰越分	92,987,272	14,617,921	15.72
計		377,430,012	278,402,961	73.76



保険税率(22年度)

		所得割	資産割	均等割	平等割
一般被保険者分	医療給付費分	8.12%	34.11%	23,806 円	18,008 円
	後期高齢者支援金分	1.40%	6.08%	4,333 円	3,278 円
	介護納付金分	2.30%	10.33%	8,884 円	5,049 円

介護保険第2号被保険者分

国保医療費(22年度)

医療費(単位:千円)			医療費(一人当たり円)		
一般	退職	計	一般	退職	計
1,022,644	64,175	1,086,819	295,391	285,222	294,771

医療費の負担区分

(単位:円, %)

		医 療 費	左の内訳(負担区分)			高 額 療 養 費	給付率	実質一部負担割合	一人当たり医 療 費
			保険者負担分	一部負担金	他法負担分				
療養給付費	一 般	1,202,036,521	880,083,309	280,100,602	41,852,610	126,245,914	83.7	12.8	347,209
	退 職	79,802,760	55,825,518	23,109,074	868,168	7,449,775	79.3	19.6	354,679
療養費	一 般	8,278,151	6,118,802	1,846,024	313,325		73.9	22.3	2,391
	退 職	1,211,463	848,000	363,463	0		70.0	30.0	5,384
計	一 般	1,210,314,672	886,202,111	281,946,626	42,165,935	126,245,914	83.7	12.9	349,600
	退 職	81,014,223	56,673,518	23,472,537	868,168	7,449,775	79.2	19.8	360,063
計		1,291,328,895	942,875,629	305,419,163	43,034,103	133,695,689	83.4	13.3	350,238

内灘町の国民健康保険事業の状況

		22年度末現在			
			未就学児	前期高齢者	70歳以上一般 70歳以上現役 並み所得者
世帯数		3,717			
被保険者数	総数	6,662	212	2,114	943
	退職被保険者等	415	0		
	一般被保険者	6,247	212		

		22年度平均			
			未就学児	前期高齢者	70歳以上一般 70歳以上現役 並み所得者
世帯数		3,689			
被保険者数	総数	6,637	237	2,121	913
	退職被保険者等	404	0		
	一般被保険者	6,233	237	2,121	913

保険税収納率(平成22年度)

		調定額	収納額	収納率
一般分	現年分	591,430,019	546,241,455	92.36
	滞納繰越分	162,127,171	23,842,731	14.71
退職者分	現年分	47,302,584	45,990,799	97.23
	滞納繰越分	3,058,239	764,080	24.98
合計	現年分	638,732,600	592,232,254	92.72
	滞納繰越分	165,185,410	24,606,811	14.9
計		803,918,010	616,839,065	76.73



保険税率(22年度)

		所得割	資産割	均等割	平等割
一般被保険者分	医療給付費分	7.10%	20.10%	30,000円	25,200円
	後期高齢者支援金分	1.70%	3.30%	4,800円	3,600円
	介護納付金分	1.20%	3.60%	8,400円	4,800円

介護保険第2号被保険者分

国保医療費(22年度)

医療費(単位:千円)			医療費(一人当たり円)		
一般	退職	計	一般	退職	計
1,771,396	166,505	1,937,901	284,196	412,141	291,984

医療費の負担区分

(単位:円, %)

		医 療 費	左の内訳(負担区分)			高 額 療 養 費	給 付 率	実質一部負担割合	一人当たり医 療 費
			保険者負担分	一部負担金	他法負担分				
療養給付費	一 般	1,739,144,033	1,272,793,438	387,226,277	79,124,318	160,523,929	82.4	13.0	279,022
	退 職	164,484,410	115,016,011	43,965,267	5,503,132	15,709,840	79.5	17.2	407,140
療養費	一 般	32,251,609	23,660,260	7,534,376	1,056,973		73.4	23.4	5,174
	退 職	2,020,292	1,414,171	606,121	0		70.0	30.0	5,001
計	一 般	1,771,395,642	1,296,453,698	394,760,653	80,181,291	160,523,929	82.3	13.2	284,196
	退 職	166,504,702	116,430,182	44,571,388	5,503,132	15,709,840	79.4	17.3	412,140
計		1,937,900,344	1,412,883,880	439,332,041	85,684,423	176,233,769	82.0	13.6	291,984

医療法人 豊寿会

川井田医院

理事長 川井田 繁

TEL42-2000

平成元年4月に川井田医院を開設して24年目を迎えます。平成12年に開設したグループホームは西諸地域で1番最初のグループホームです。

今後も高原町民の方々のお役に立つサービスを提供していきたいと思っております。

介護についてお悩みやご相談がありましたら、お気軽にお寄りください。



グループホーム夏祭り



グループホーム食事風景



グループホーム



デイサービス



体操風景



初詣の様子



【介護サービス事業】 デイサービス、グループホーム3ユニット（定員27名）
介護療養型医療施設（10床）

四月一日さん↓わたぬきサン
八月一日さん↓ほづみサン
・・・でした。

さて、何て読む??...

※前回、第37号編集後記の答え

れば幸いです。
より活発な意見を出し合い、
これからの町政発展のため、
取り組んでいくところです。

前原 淳一

さて、議会も新体制になっ
て早一年を迎えようとしてい
ます。通年議会や議会基本条
例の制定に向け、皆様との意
見交換会やアンケート調査の
計画など少しでも開かれた議
会を目指し、議員一丸となっ
て取り組んでいくところです。

新燃岳噴火から一年が過ぎ、
現在も終息どころか、いつ噴
火してもおかしくない状況が
続いております。
又一方では東海、東南海、
日向灘を含めた南海地震も大
きな話題となっています。常
日頃から思わぬ災害に備え非
常時持ち出し物、あるいは心
の準備もしておきたいもので
す。

編集後記